

お知らせ：次回発信日は10月16日週報(予定)

Jミルクが2025年9月30日に公表した「需給見通し(※2025年7月迄実績)」の予測値と直近の実績値(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

【8月の統計実績】

● 生乳生産量

全国が、前年同月比+2.0%(日均量、以下同)となり、13カ月連続で前年水準を上回った。地域別では、北海道が+2.8%と全国同様に13カ月連続で前年水準を上回り、都府県は+1.0%と14カ月ぶりに前年水準を上回った。指定団体受託乳量(速報)では、北海道(ホクレン)において前年水準を上回る状況が続いているものの、9月中旬が+0.7%、9月下旬が+0.5%と8月以前に比べ増加幅は縮小している。都府県では、9月中旬が+0.5%と3旬ぶりに前年水準を上回った。

● 牛乳等生産量

8月に飲用等向け乳価が改定された影響もあり、牛乳の生産量は2カ月ぶりに前年水準を下回った。牛乳以外の品目も消費は伸び悩み、成分調整牛乳は63カ月連続、加工乳は3カ月ぶり、乳飲料は2カ月ぶりに前年水準を下回った。この結果、牛乳類全体としては2カ月ぶりに前年水準を下回った。発酵乳についても、3カ月ぶりに前年水準を下回った。これらの動向を受け、生乳の飲用等向け処理量は減少し、前年同月比は▲1.1%と2カ月ぶりに前年水準を下回った。その一方で、乳製品向け処理量は+6.0%と13カ月連続で前年水準を上回った。

● 乳製品需給

脱脂粉乳は、生産量が12.5千ト、推定出回り量は10.6千トと需要量が供給量を下回り、月末在庫量は65.5千ト(前年同月比+28.6%)と9カ月連続で前年水準を上回った。在庫量が60千トを超えるのは、4カ月連続。バターは生産量が5.8千ト、推定出回り量が6.4千ト、輸入売渡数量が0.9千トとなり、供給量が需要を上回った結果、在庫量は0.3千ト増加して32.6千トとなった。在庫量は12カ月連続で前年水準を上回っている。

【9月および9/29週の販売動向データ】

● 9月の牛乳類の販売個数は、4品目いずれも前年水準を下回った。1カ月の平均販売単価は、7月との価格差が牛乳で+10.2円、牛乳類トータルで+9.7円上昇した。販売業態別に見ると、ドラッグストアの上昇幅が相対的に小さい。ただし、8月から9月にかけての値上げ幅はドラッグストアが最も大きい。ほかの業態より価格転嫁の時期が後ろ倒しとなった可能性がある。ドラッグストアでの販売個数は2カ月連続で前年水準を上回ったものの、増加幅は8月に比べて縮小している。

● 直近週(9/29週)の販売動向では、牛乳類トータルの販売個数が9週連続で前年割れとなったものの減少率は若干縮小した。平均販売単価は、7/21週との価格差が牛乳で+9.6円、牛乳類トータルで+9.1円と前週から若干下落した。

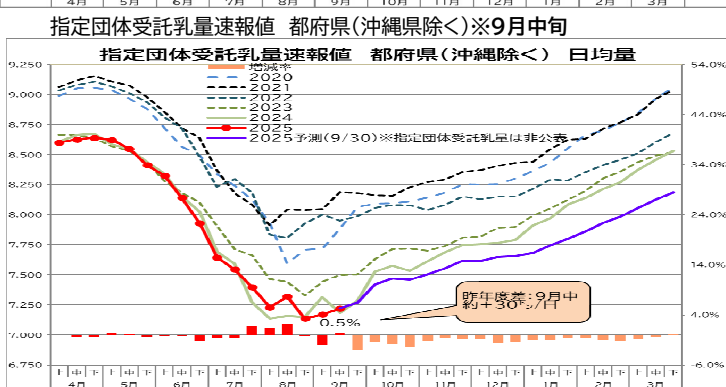
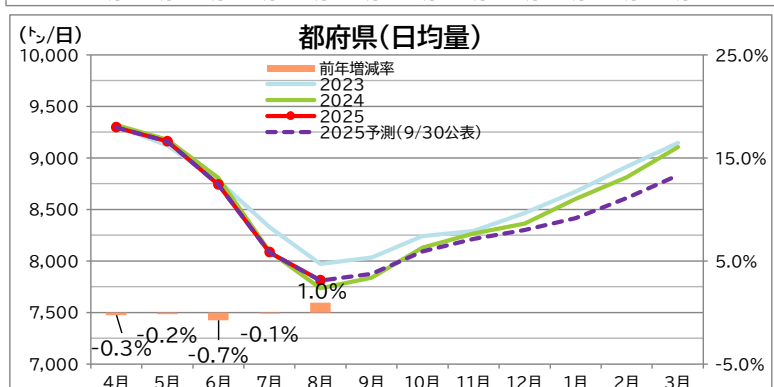
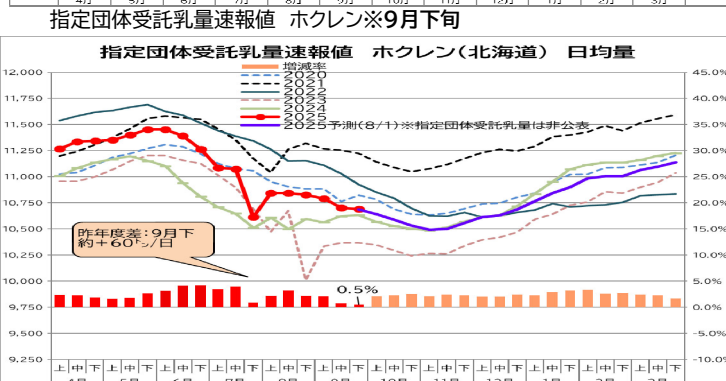
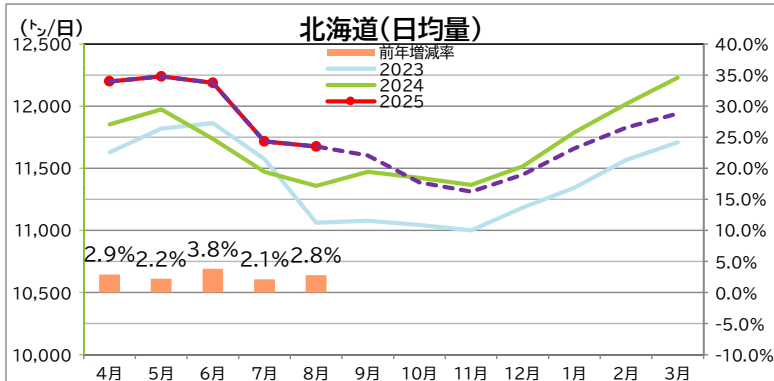
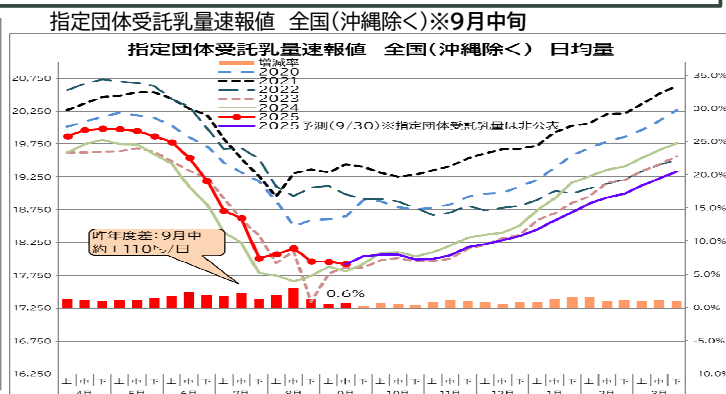
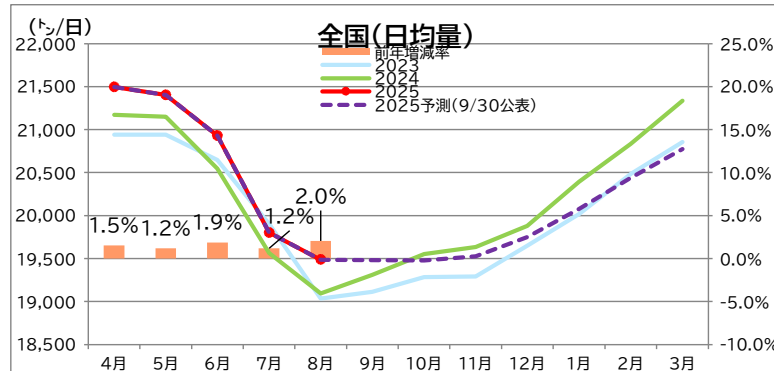
● 発酵乳の合計販売数量は、個数ベース・容量ベースいずれも前年水準を下回った。内訳を見ると、ドリンクタイプが5週連続、個食タイプが28週連続で前年水準を下回った一方、大容量タイプは3週連続で前年水準を上回った。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の生乳生産量は、全国604.1千ト(前年同月比102.0%)、北海道361.9千ト(同102.8%)、都府県242.2千ト(同101.0%)。

(2)8月1日に公表したJミルク予測値(全国595.6千ト、北海道357.3千ト、都府県238.2千ト)との比較は北海道・都府県ともに上振れした。

(3)直近の指定団体受託乳量速報値は全国が9月中旬(最新、以下同)で同100.6%、都府県(沖縄除く)が同100.5%、北海道は9月下旬で同100.5%となった。

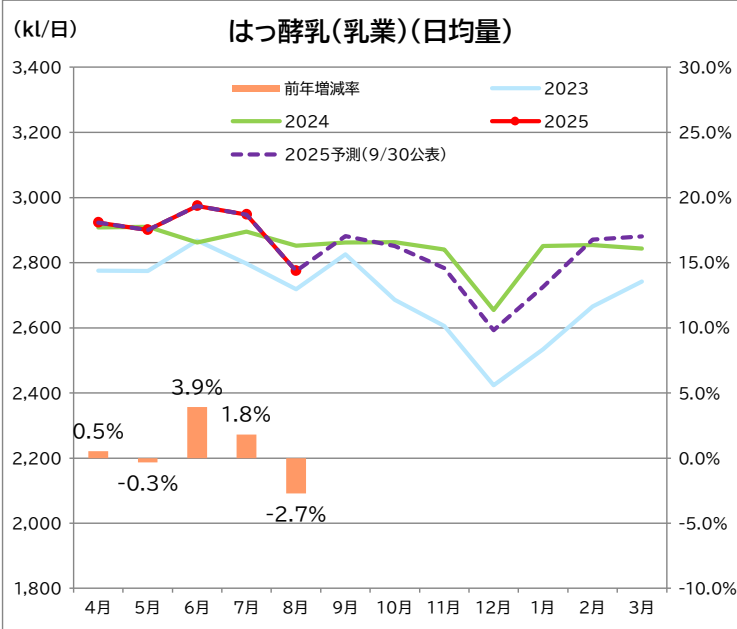
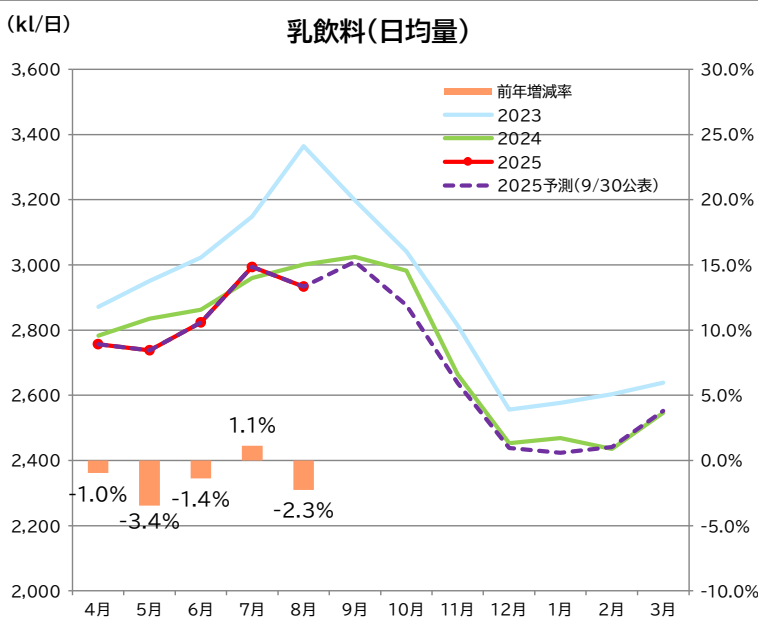
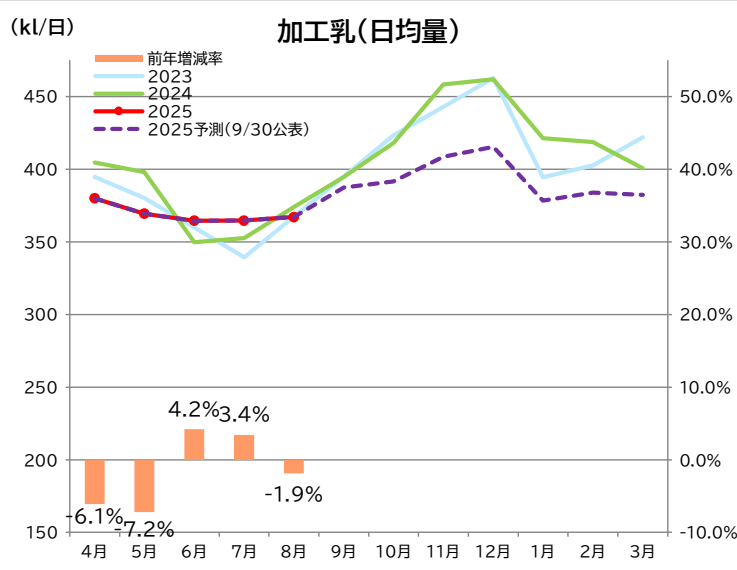
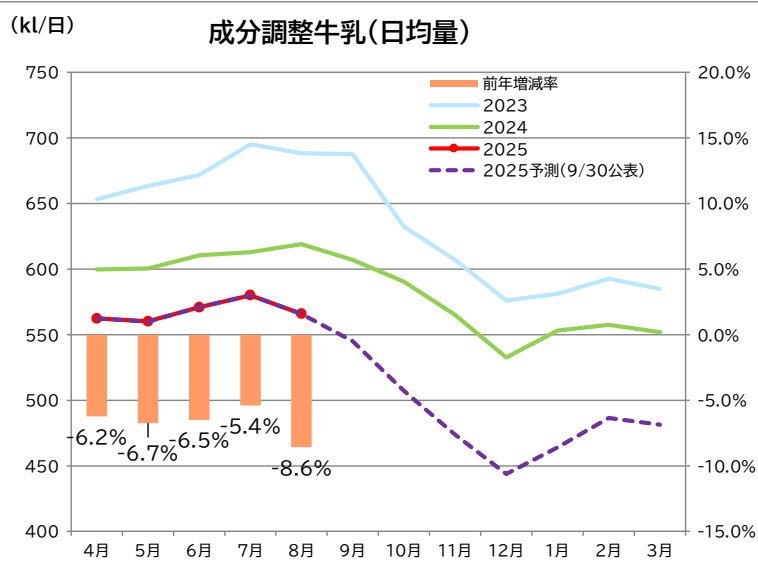
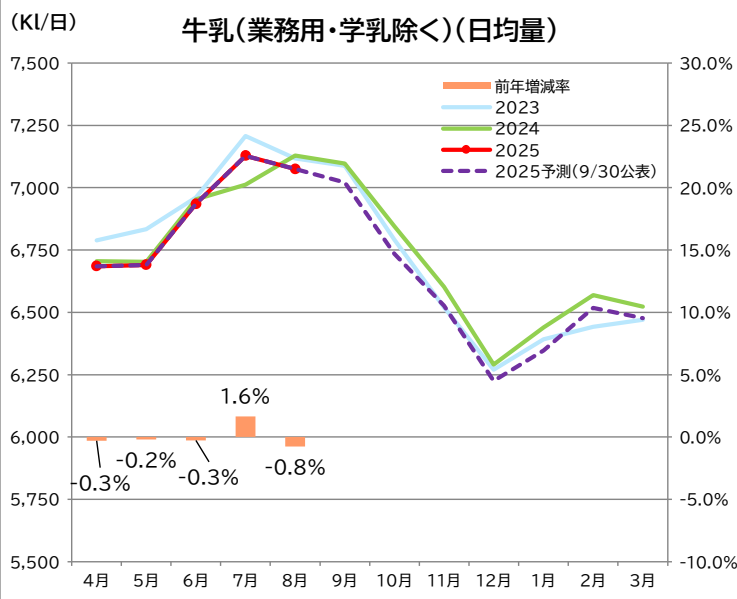
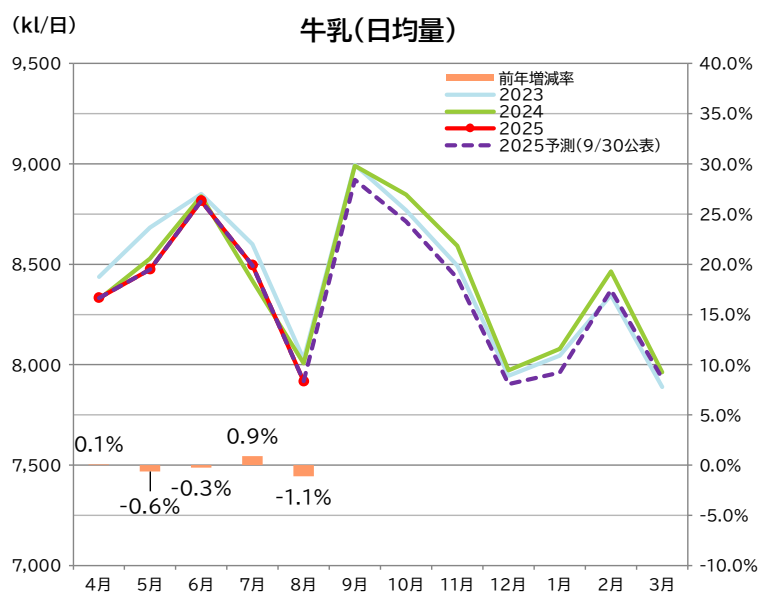


【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の牛乳等生産量は、牛乳245.4千kl(前年同月比98.9%)、成分調整牛乳17.5千kl(同91.4%)、加工乳11.4千kl(同98.1%)、乳飲料90.9千kl(同97.7%)。牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では、365.3千kl(同98.2%)となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同99.2%、「業務用」は同94.7%、「学乳」は102.0%。

(3)はっ酵乳(乳業)は86.0千kl(同97.3%)、はっ酵乳(非乳業:7月実績)は97.6%となった。

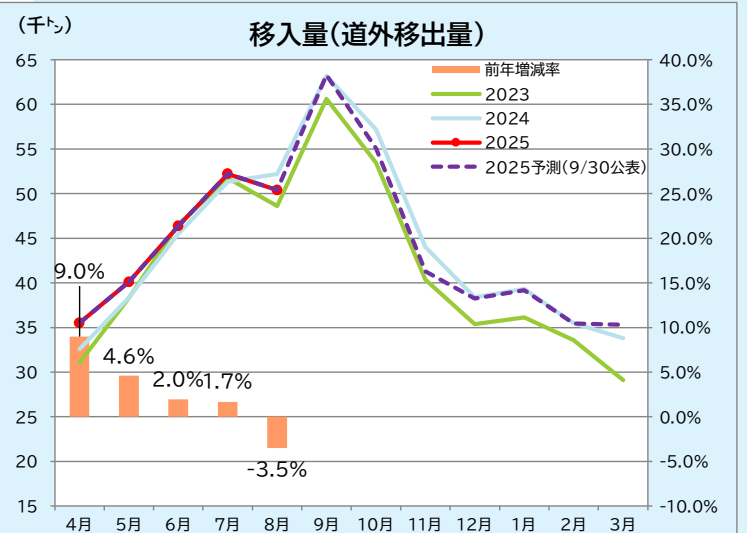
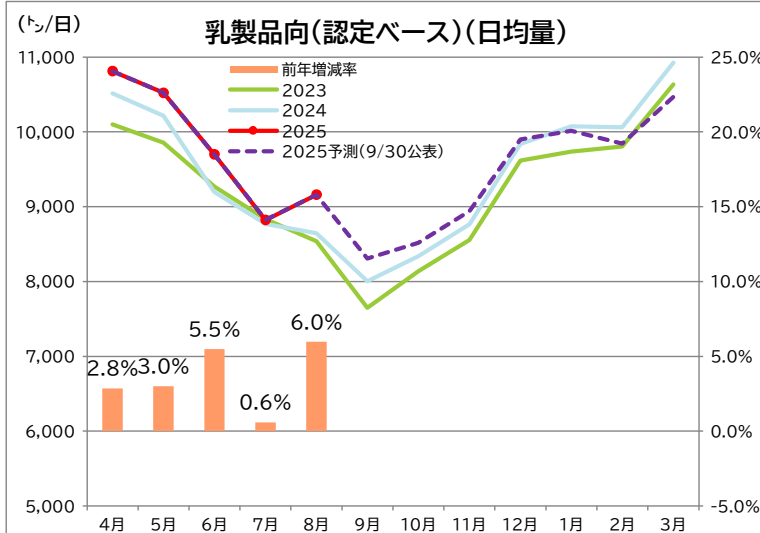
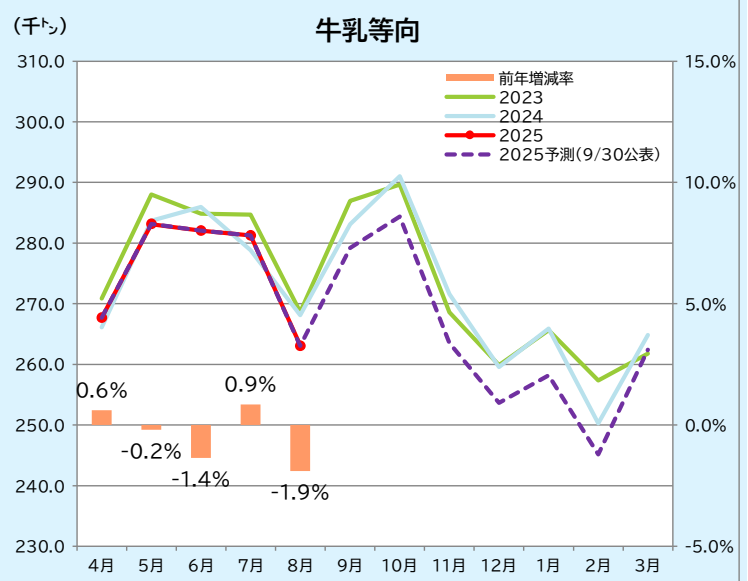
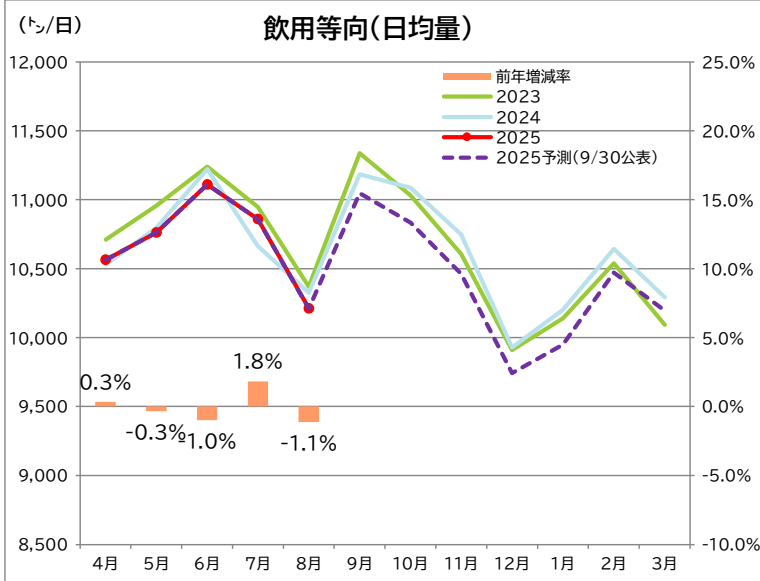
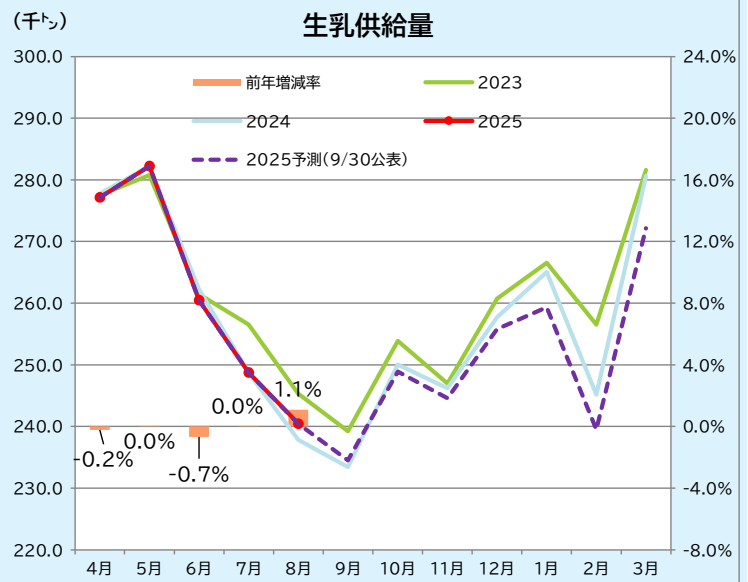
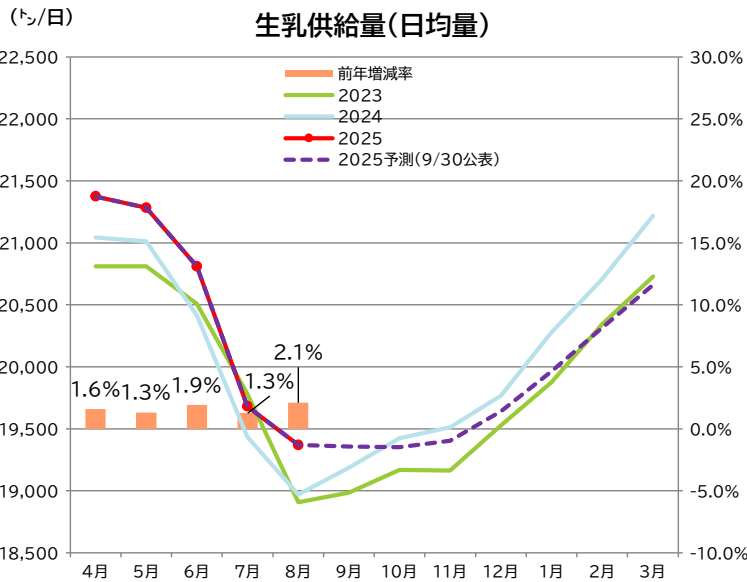


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の生乳供給量は600.5トン(前年同月比102.1%)、飲用等向316.5千トン(同98.9%)、乳製品向(認定ベース)284.0千トン(同106.0%)。
 (2)飲用等向が2か月ぶりに前年を下回り、生乳供給量は13か月連続で前年を上回り、結果として乳製品向も13か月連続で前年を上回った。
 (3)8月1日に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:591.6千トン)は上振れ、飲用等向(予測値:314.5千トン)も上振れ、乳製品向(予測値:277.2千トン)も上振れとなった。

【都府県の生乳需給】

(1)8月は、生乳供給量240.4千トン(前年同月比101.1%)、牛乳等向263.1千トン(同98.1%)。
 (2)北海道からの移入量については50.4千トン(同96.5%)と前年を下回った。
 (3)8月1日に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:236.3千トン)は上振れ、牛乳等向(予測値:263.8千トン)は下振れ、移入量(予測値:54.1千トン)も下振れとなった。



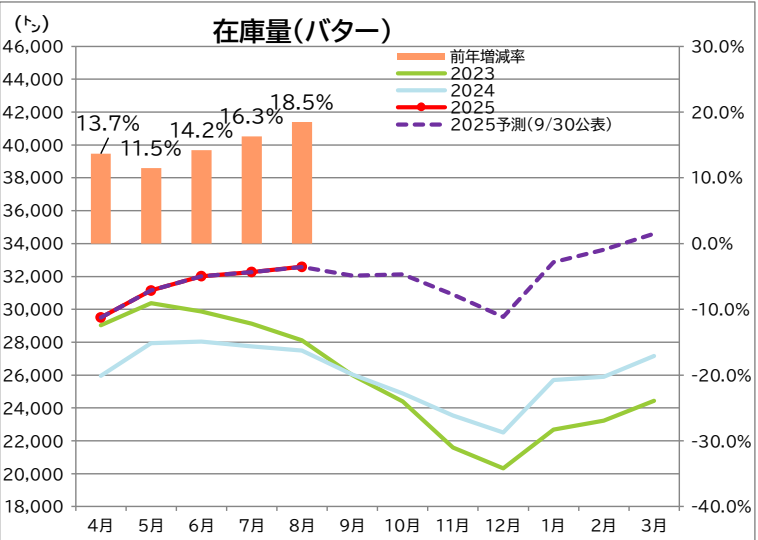
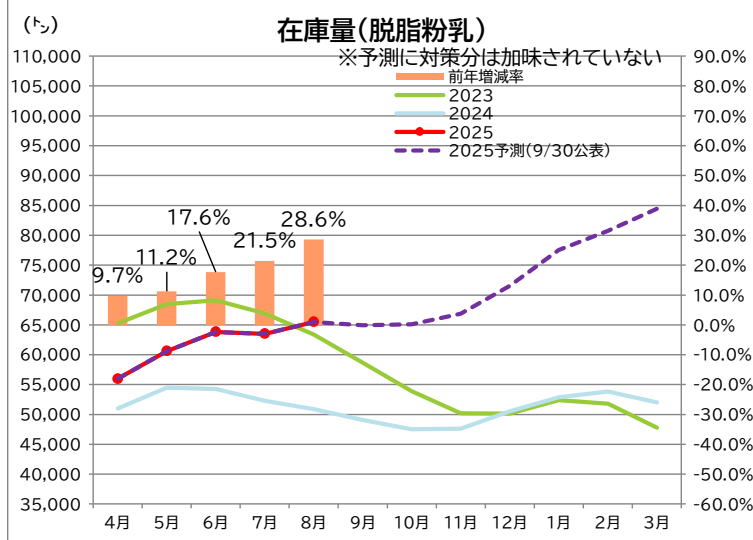
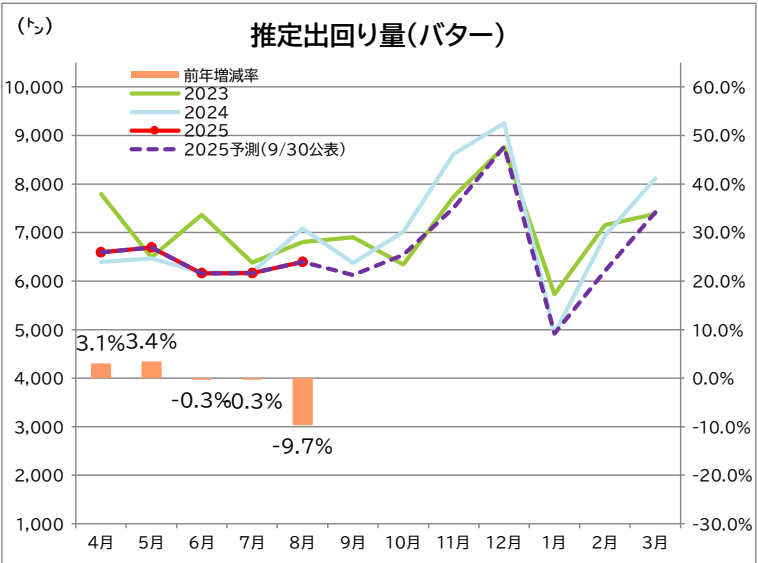
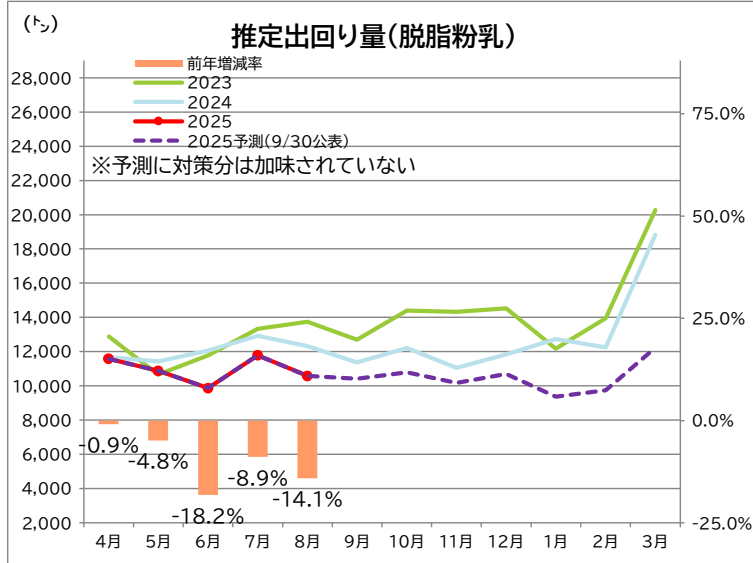
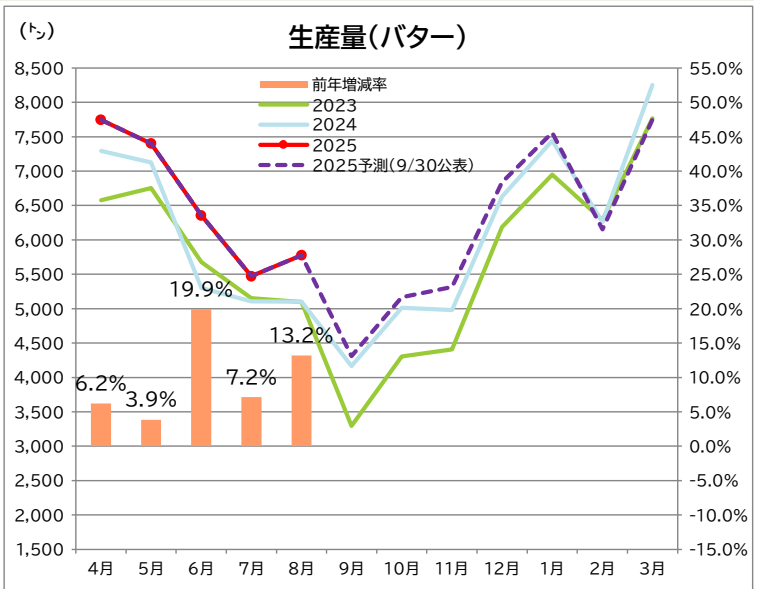
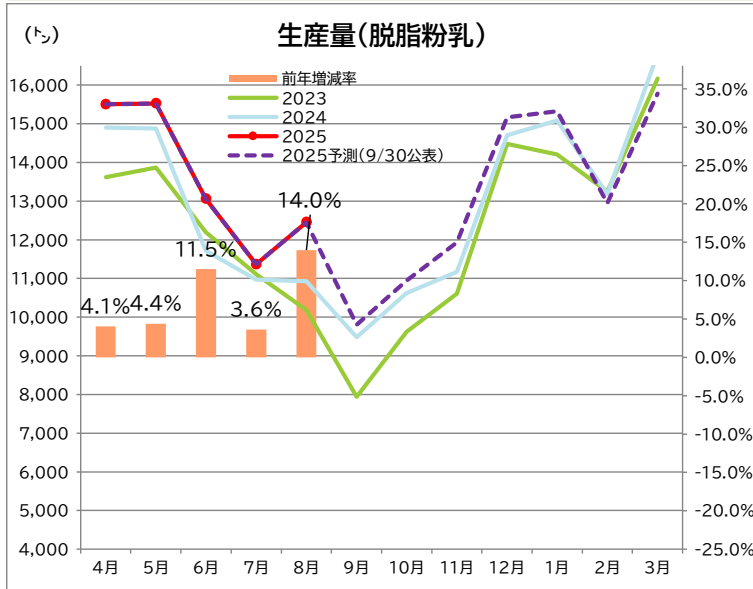
【脱脂粉乳・バターの需給】

(1)脱脂粉乳について8月の生産量は12.5千トン(前年同月114.0%)、推定出回り量は10.6千トン(同85.9%)となった。出回り量が生産量を下回り在庫量は前月から2.0千トン程度増加し、65.5千トン(同128.6%)となった。在庫量は昨年12月、約2年3カ月ぶりに前年水準を上回り、8カ月連続で前年水準超えで推移している。在庫量が6万トンを上回るのは、4カ月連続となる。

※なお、推定出回り量の実績について、前年度の実績から在庫対策を差し引いた数量との比較は99.0%。

(2)バターについて、8月の生産量は5.8千トン(同113.2%)、推定出回り量は6.4千トン(同90.3%)となった。国家貿易による輸入売渡分(約0.9千トン)も考慮すると在庫量は前月から約0.3千トン増加し32.6千トン(同118.5%)となった。在庫量は12カ月連続で前年超え。

▶脱脂粉乳とバターの需要のアンバランスが表面化するなか、飲用需要が低調に推移している。脱脂粉乳は、積み増しを避けるべく需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図る必要がある。バターは、消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)9月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比98.0%、成分調整牛乳:同91.6%、加工乳:同91.9%、乳飲料:同96.7%。牛乳類全体:同97.3%

【参考】2023年9月比…牛乳:97.4%、成分調整牛乳:83.8%、加工乳:91.1%、乳飲料:89.0%(牛乳類トータル:95.0%)

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(9/29)の販売個数は、牛乳:前年同期比98.7%、成分調整牛乳:同90.2%、加工乳:同90.5%、乳飲料:同97.7%。牛乳類トータルでは同97.8%

出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

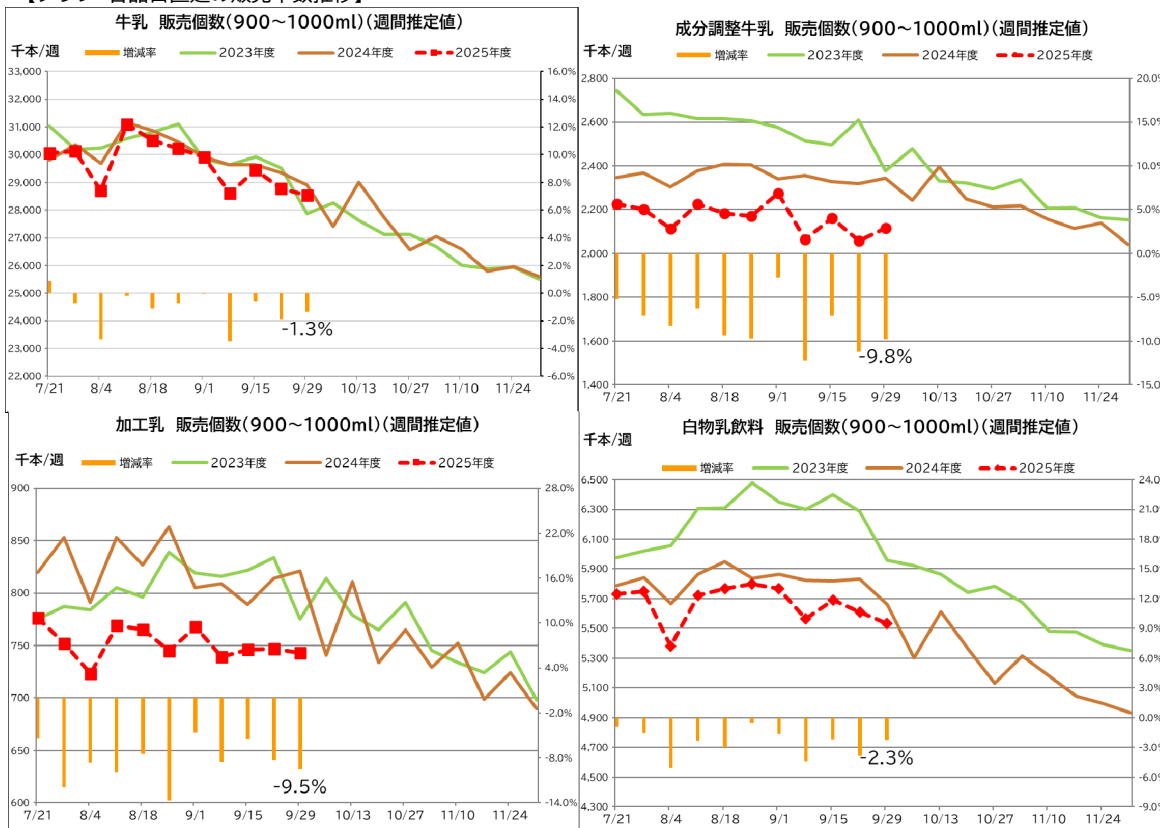
単位:千個、円

品目	区分	2025/4-	2025/5-	2025/6-	2025/7-	2025/8-	2025/9-	2025/9- 2022/10価格差	2025/9- 2023/3価格差	2025/9- 2023/7価格差	2025/9- 2025/7価格差
トータル	販売個数	146,253	153,204	157,377	167,382	172,469	161,532	42.9	27.8	26.0	9.7
	販売個数前年比	95.6	96.9	96.9	99.1	98.4	97.3				
	販売単価	215.9	216.1	216.0	216.3	225.3	226.0				
牛乳	販売個数	112,919	118,273	121,902	129,515	134,237	124,875	45.1	28.8	28.0	10.2
	販売個数前年比	96.5	97.8	98.0	100.0	99.2	98.0				
	販売単価	224.7	224.9	224.6	225.1	234.2	235.3				
成分調整牛乳	販売個数	8,943	9,201	9,182	9,676	9,690	9,194	45.0	29.4	25.8	12.1
	販売個数前年比	95.1	96.1	93.2	94.3	92.4	91.6				
	販売単価	205.2	205.1	206.2	206.1	217.3	218.2				
加工乳	販売個数	2,967	3,103	3,119	3,335	3,333	3,215	41.6	31.9	21.7	10.2
	販売個数前年比	92.7	89.2	90.1	91.2	90.5	91.9				
	販売単価	221.5	221.5	223.7	223.3	233.4	233.5				
乳飲料	販売個数	21,424	22,627	23,173	24,855	25,209	24,249	30.8	20.2	16.5	6.7
	販売個数前年比	91.7	93.5	94.0	97.6	97.8	96.7				
	販売単価	173.4	173.7	173.6	173.6	179.8	180.3				

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	8.11-	8.18-	8.25-	9.1-	9.8-	9.15-	9.22-	9.29-	25.9.29- 22.10.24 価格差	25.9.29- 23.7.20 価格差	25.9.29- 23.7.24 価格差	25.9.29- 25.7.21 価格差
トータル	販売個数	39,822	39,241	38,947	38,731	36,986	38,055	37,200	36,922	42.4	27.5	25.1	9.1
	販売個数前年比	98.9	98.0	98.4	99.5	95.8	98.7	97.1	97.8				
	販売単価	226.3	226.3	226.3	225.9	226.2	225.9	226.0	225.6				
牛乳	販売個数	31,103	30,528	30,232	29,922	28,615	29,458	28,787	28,533	44.6	28.3	27.1	9.6
	販売個数前年比	99.8	98.9	99.2	100.0	96.6	99.4	98.1	98.7				
	販売単価	235.2	235.3	235.4	235.1	235.5	235.1	235.3	234.9				
成分調整牛乳	販売個数	2,227	2,183	2,172	2,276	2,065	2,162	2,058	2,116	42.7	27.9	23.0	9.8
	販売個数前年比	93.7	90.6	90.3	97.3	87.7	92.9	88.8	90.2				
	販売単価	218.4	219.1	219.0	217.3	218.8	218.4	218.8	216.0				
加工乳	販売個数	769	765	745	768	739	746	747	743	39.4	29.5	19.5	9.5
	販売個数前年比	90.1	92.5	86.3	95.4	91.4	94.6	91.8	90.5				
	販売単価	234.3	234.3	234.8	233.4	233.6	233.9	233.0	232.5				
乳飲料	販売個数	5,724	5,765	5,798	5,766	5,566	5,689	5,609	5,531	30.6	20.8	16.1	7.1
	販売個数前年比	97.6	97.0	99.4	98.4	95.6	97.8	96.1	97.7				
	販売単価	179.9	180.5	180.7	180.7	180.4	180.1	180.2	180.3				

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の週次動向(表⑤参照)

直近(9/29週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。はっ酵乳全体としては、前年を下回った。(3品目合計販売個数は前年同期比90%以上、合計販売容量は同90%以上)。

(2)販売個数について、前週(9/29週)との比較では、大容量タイプが減少した一方、ドリンクタイプと個食タイプは増加した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表⑤ ヨーグルト類の販売動向】

品目	8.11-	8.18-	8.25-	9.1-	9.8-	9.15-	9.22-	9.29-
ドリンクタイプ	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	→	→	↗	→	↘	→	→	→

↘	: 前年比90%未満	↗	: 前年比105%以上110%未満
↘	: 前年比90%以上100%未満	↗	: 前年比110%以上120%未満
→	: 前年比100%以上105%未満	↗	: 前年比120%以上

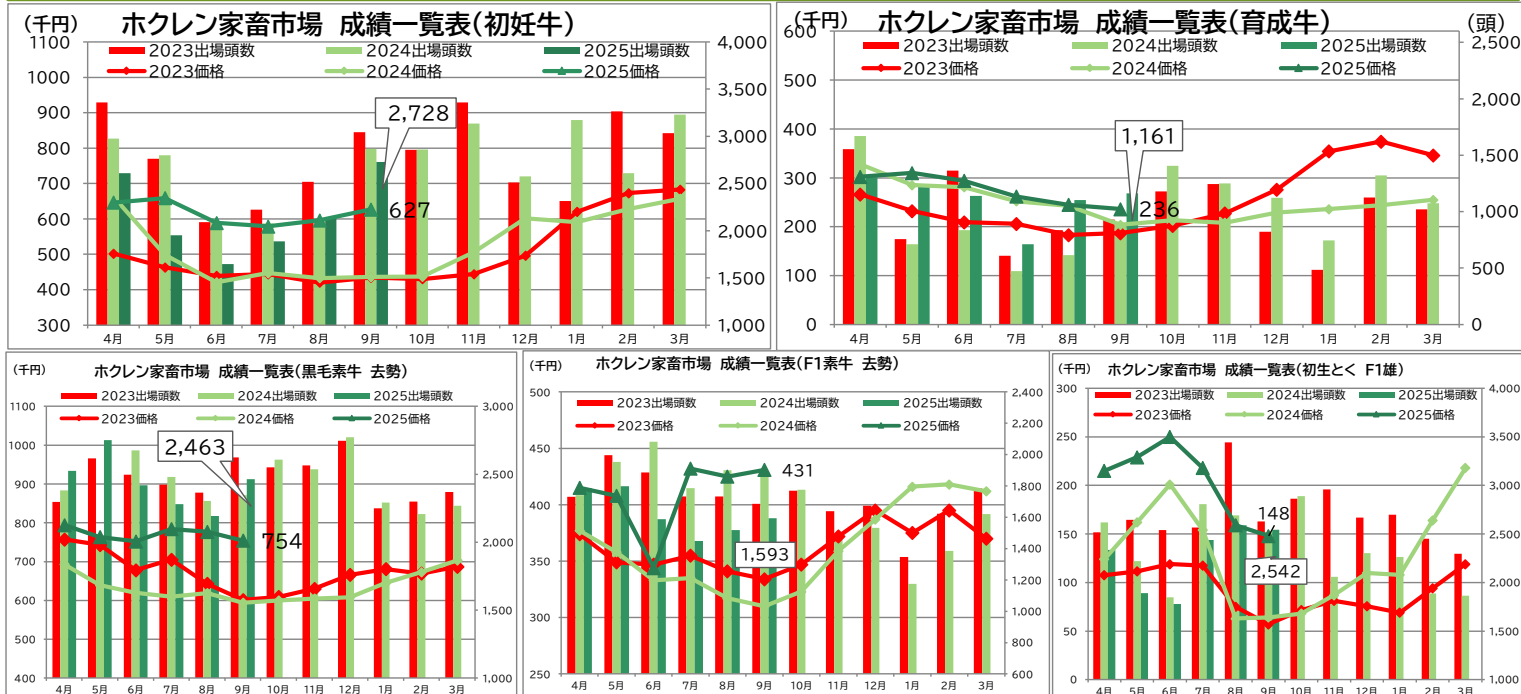
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいのことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

(1)9月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は627千円(前年同期比143.8%)、育成牛価格は236千円(同115.7%)、和牛素牛(去勢)価格754千円(同126.9%)、F1素牛(去勢)価格は431千円(同139.0%)。初妊牛は4か月ぶりに60万円台、育成牛は4カ連続で20万円台。ホル初生(雄)価格は36千円(同360.0%)と、3か月連続で前年水準を上回った(グラフ無し)。

(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同95.1%、育成牛:同131.5%、F1初生(雄):同100.9%、和牛素牛(去勢):同105.0%、F1素牛(去勢):同84.7%。

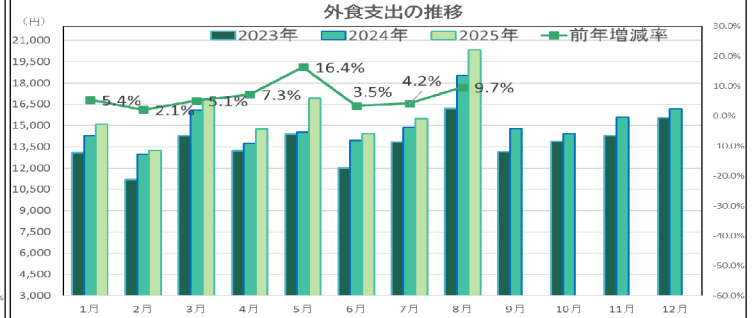
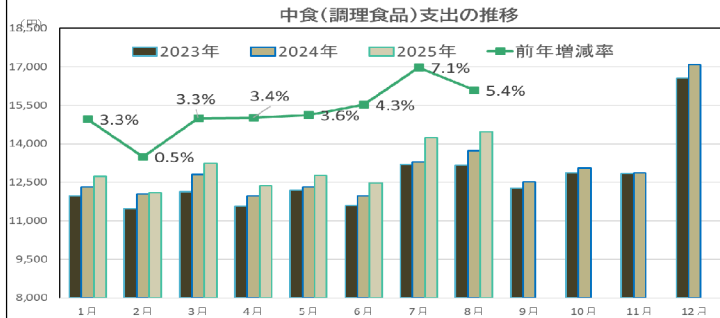
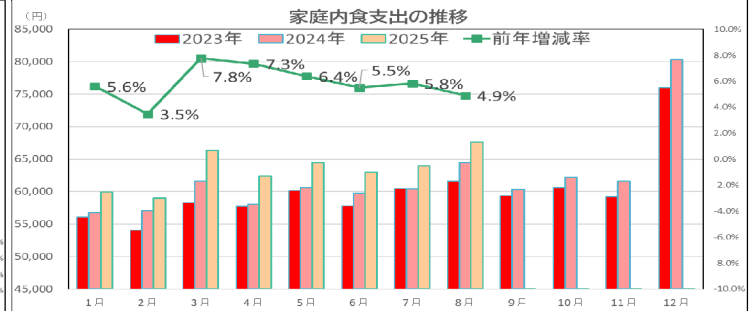
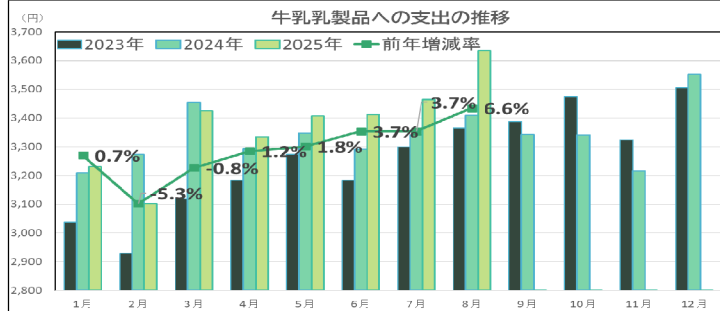
※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



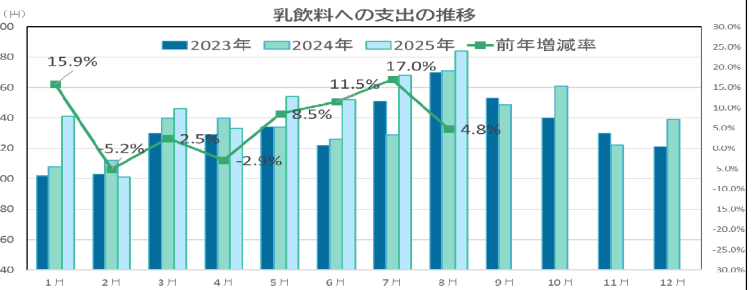
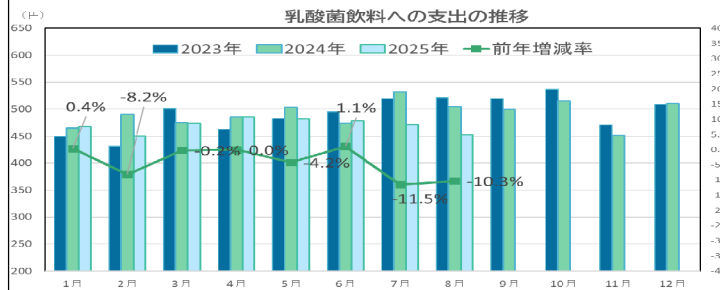
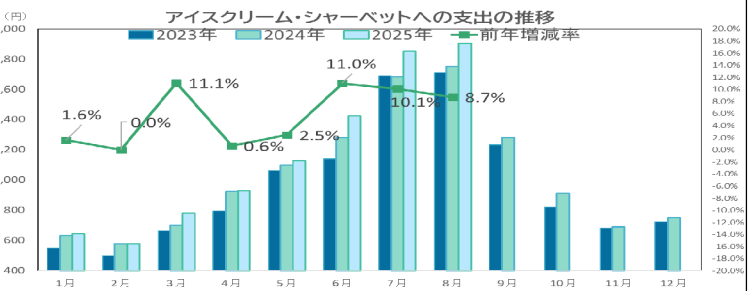
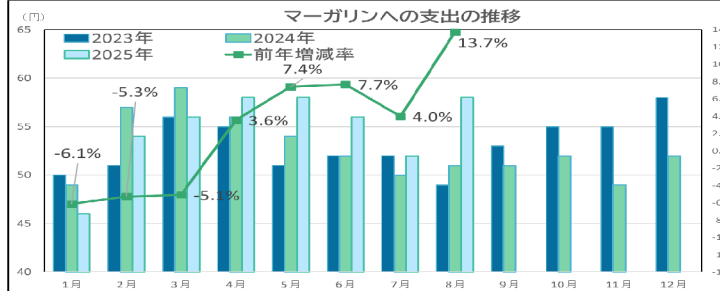
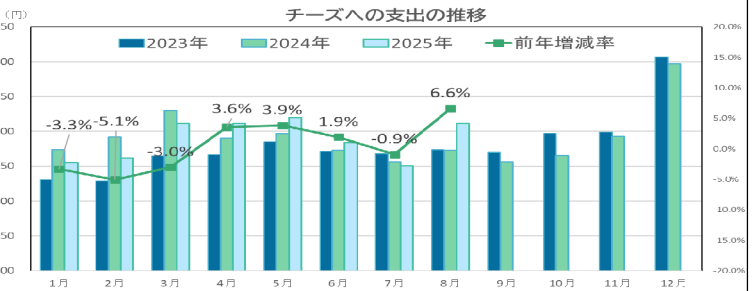
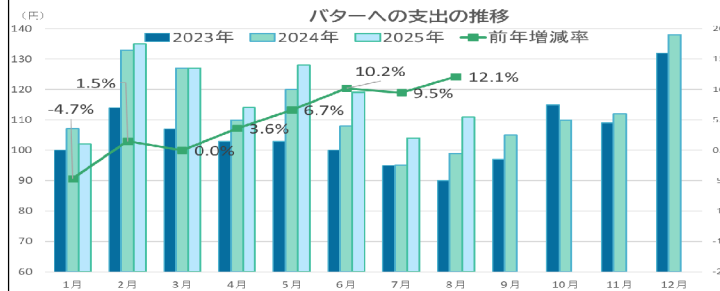
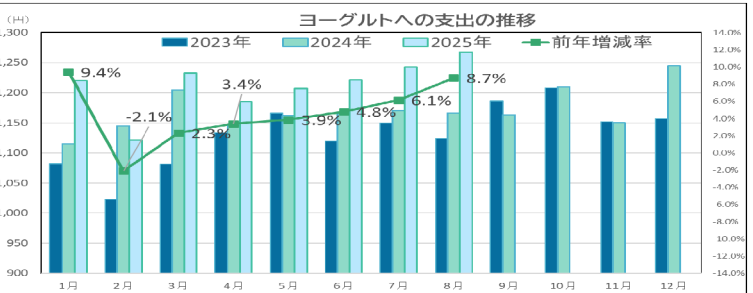
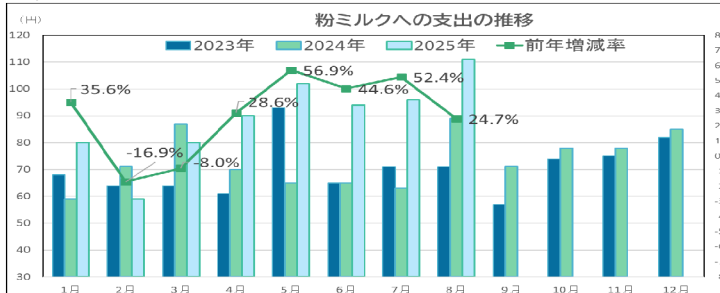
【家計支出の動向】

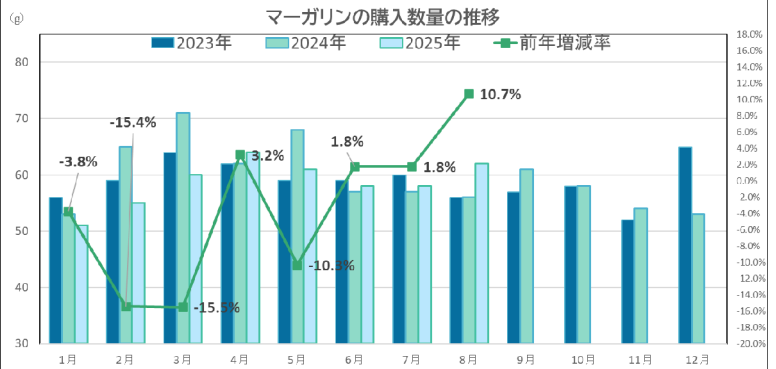
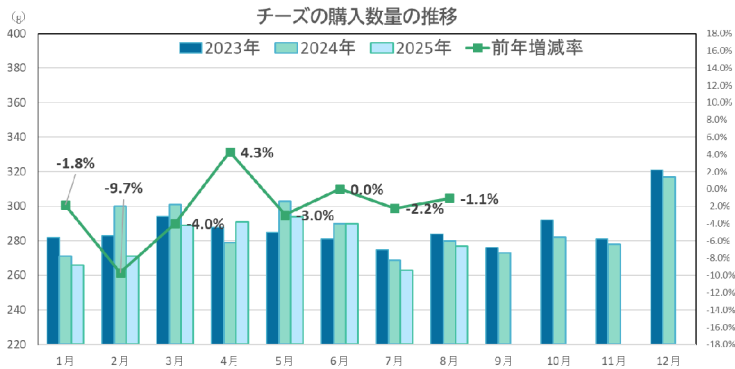
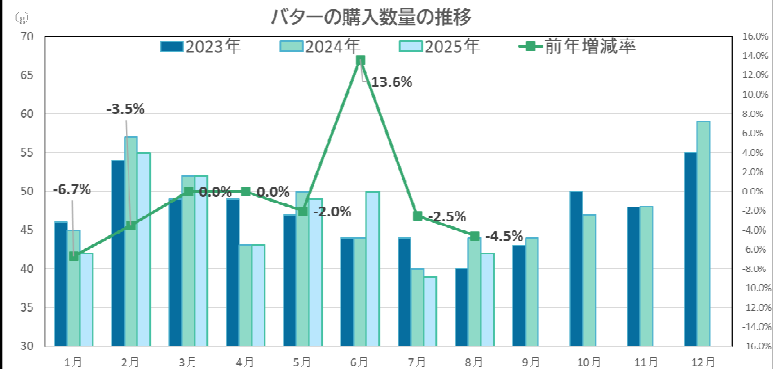
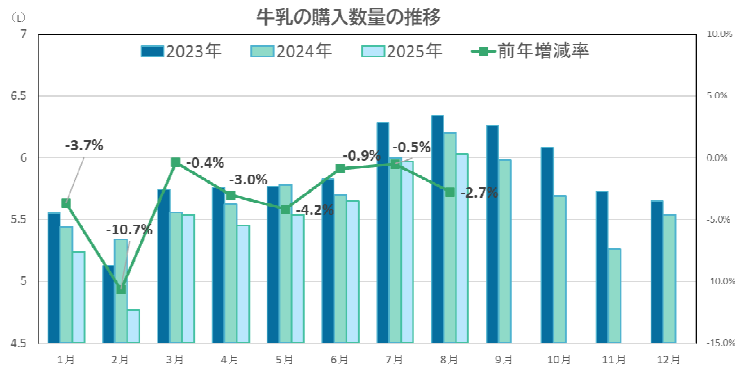
- (1)8月の支出額前年比について、外食109.7%、中食105.4%、内食104.9%といずれも前年を上回り、食料全体への支出額は105.9%となった。
- (2)牛乳乳製品の支出額も前年比106.6%(うち牛乳103.2%、乳製品109.0%)と4カ月連続で前年を上回った。
- (3)なお、購入量は、牛乳97.3%(1世帯当たり6.0)と15か月連続で前年割れ。チーズとバターは、どちらも2カ月連続で前年割れとなった。

※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)



【参考:その他品目支出の動向】



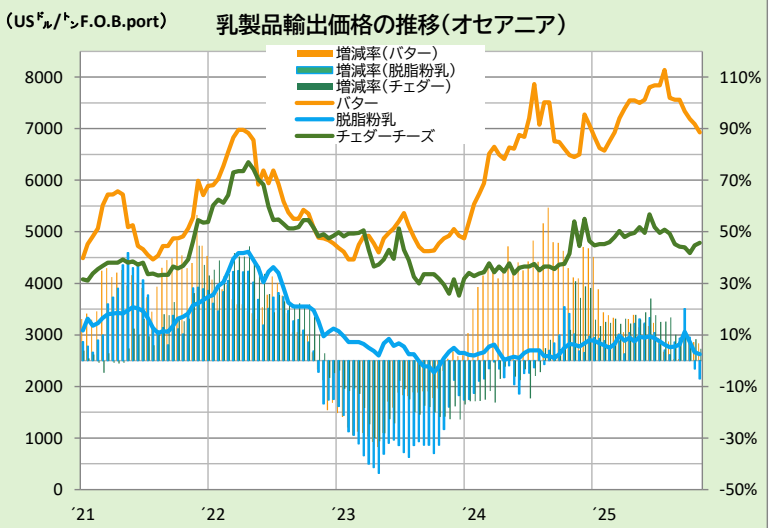
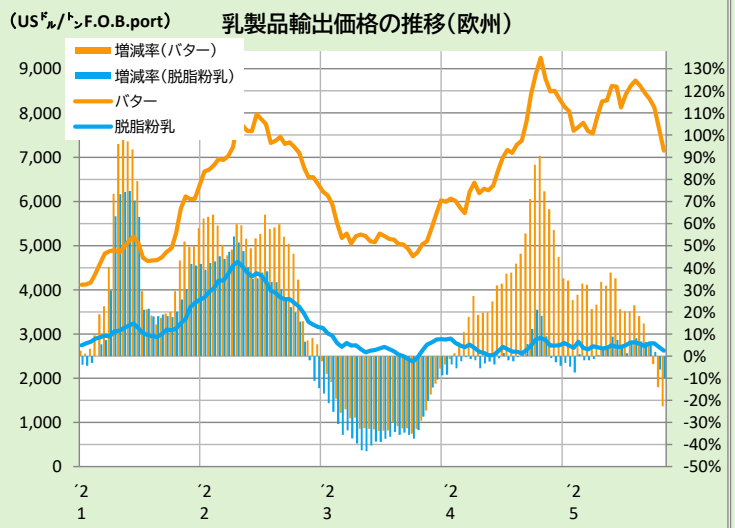


【乳製品輸出価格の動向】

(1) 直近の乳製品国際相場について(9月下旬)

- ・欧州: 脱脂粉乳2,625ドル/トン、バター7,150ドル/トン中心。バターは24年1月以来、1年9カ月ぶりに前年実績を下回った。
- ・オセアニア: 脱脂粉乳2,625ドル/トン、バター6,925ドル/トン、チェダーチーズは4,788ドル/トン中心

※出典: 米国農務省(USDA)



※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」